



# クイーン倶楽部だより 12月号

2016年

第166号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟  
 新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100  
 TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447  
 URL <http://www.eco-rice.jp/>  
 E-mail [eco-net@nekonet.ne.jp](mailto:eco-net@nekonet.ne.jp)

## 003 003 中越地震、東日本大震災の被災体験から生まれた非常食セット



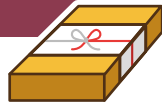
30,000円

中越地震の被災体験、東日本大震災の被災体験の中から、災害時避難者が安心・安全で美味しく食べられる非常食がないことから、新潟県産米を使用して、誰でも食べられる非常食を開発。責任、使命感を込めて全国130以上の自治体、40以上の保育園・幼稚園で提供されています。フードアクションコッパンアワード優秀賞、キッズデザイン賞、ニイガタデザインコンペティション大賞を受賞。製品名「被災のためのご飯」5年、「お茶クッキー」3年、エコライス創製

【内容】アルファ米「被災のためのご飯」×10食、アルファ米・グルテンフリーな米粉クッキー4.5枚入り×10袋

長岡市のふるさと納税ホームページより

## 長岡市・ふるさと納税



### エコ・ライスの商品が返礼品に使用されています

ふるさと納税とは、好みの市区町村へ寄付をすることを言います。寄付をすることによって税金が控除されたり、お礼の品物が市区町村から送られてくるなど、メリットの多い制度です。

新潟県長岡市の御礼の品に、エコ・ライスの商品(アルファ米・米粉のクッキー)も使用されています。

ふるさと納税に興味のある方、長岡市に寄付をお考えの方は、ぜひ一度ホームページをご覧ください。

長岡市ホームページ <http://www.city.nagaoka.niigata.jp/>



## 冬の風物詩!? 白鳥が田んぼを舞う!

冬の枯れた田んぼに白い鳥が…。  
 越冬しに新潟にやってきた白鳥は落ち穂や虫を食べに田んぼに集まって来ます。新潟では当たり前の風景ですが、他県の方からとても珍しがられる風景です。



中村 信也(なかむらのぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

## ドクター「N」の 私にも一言言わせて

その20

※ドクター…英語で博士の意味

### 引きこもり、薬物依存そして認知症誘発技術

長たらしいタイトルですが、タイトル三病は同一原因に源を発します。

コンピュータは単純労働を瞬時に行う助っ人としてデビュー、普及してきました。次第に能力を高め、遂にAI、すなわち人工頭脳の第二世代へ突入してきました。コンピュータの普及は単純労働者を上乗りの仕事に変換させてゆきましたが、対応できず三病に陥った人々は少なくありません。

第二世代AIコンピュータは「認知と判断」を行うことになり、人々はその上の仕事、すなわち「決断」の仕事させねばなりません。

AI新技術は人工頭脳を備え、自分で認知し判断して行きます。最後のチェッカーが人間です。それは、多くの従業員を必要としません。新技術の目的は人件費節約、コストダウンで、「人減らし技術」です。AIについていけないという人が多くいることは計算済みです。

会社を強制的・自主的に辞めざるを得なくなった方々は第一世代のように社会に参加しなくなるか、浮世(憂き世)を忘れたく薬に走るかであり、社会的には更に便利になり、認知症を招くこととなります。

その結果三病は増加し、医療費、社会保障は急増して行きます。少数の大金持ちと多数の貧困者で税収は落ち、増々窮してゆきます。

AI技術は国策の下に研究は進められています。新技術の最終目的は、新技術により空いた時間ができ、それをヒトとコミュニケーションに回して、より親密に人々がなれるというものになれば、社会は健全に保てるようになります。昔のようにつつたりと対話できるようなになれば、新技術の進歩は素晴らしい世に変えるでしょう。